

2024年9月2日

2024年度以降に取り組む新規商品類型の選定結果について（候補追加）

(公財)日本環境協会
エコマーク事務局

2024年4月5日にお知らせした「2024年度以降に取り組む新規商品類型の選定結果」において追加調査を実施するとした2つの案件について、エコマーク企画戦略委員会（第45回：2024年8月開催）で審議した結果、2024年度以降に着手する新規商品類型化(商品類型の見直しを含む)の候補として追加し、さらに継続検討することとなりましたので、お知らせします。

1. 新規商品類型化(商品類型の見直しを含む)の候補として継続検討とする案件

継続検討を行い、基準策定委員会設置の目途が立った時点で、正式に「選定」とする旨を公表し、委員の公募など基準策定委員会設置の手続きに入ります。基準策定が困難な場合は「不選定」を決定します。

案件名	継続検討とする理由等の要旨
温水器	建築物（住宅等）に設置される給湯器などの温水器等は、国のグリーン購入法の特定調達品目でも対象となっており、環境配慮型商品の使用が推進されているところである。省エネ法に基づくエネルギー消費効率や資源循環（易分解性、再生材料の使用等）などライフサイクル全体を通じた環境負荷低減に資する基準化に向けて、新規商品類型化の候補として継続検討とする。
電池 (モバイルバッテリー)	繰り返し使用できる二次電池の中でも「モバイルバッテリー」はスマートフォン等の普及に伴って日常的に持ち歩くようになった消費者に身近な商品の一つである。そこで「モバイルバッテリー」にスポットを当て、長寿命設計や包装資材での環境配慮の側面に加え、火災事故等で社会問題化している品質や安全性を含めた基準化に向けて、新規商品類型化の候補として継続検討とする。

参考) 2024年4月5日 2024年度以降に取り組む新規商品類型の選定結果について
<https://www.ecomark.jp/pdf/ruikeisentei2024.pdf>